



海峡の英知。未来へそして世界へ。

公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University

2020年3月1日 第90号
発行：下関市立大学広報委員会
〒751-8510 下関市大学町2-1-1
TEL.083-252-0288
FAX.083-252-8099
<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

高大連携事業

2019年度下関市内における高大連携事業について

教授 関野 秀明
(高大連携委員会委員長)

2019年度におきましても、下関市立大学は下関市内の高等学校、中等教育学校様との連携事業を積極的に推進いたしました。下関市立大学の高大連携事業は次の3本柱です。

①大学見学事業。これは地元下関の高等学校、中等教育学校の生徒さん、先生方を下関市立大学にお招きし、模擬講義やキャンパス見学、学生食堂での食事、市大生との交流を楽しんでいただく事業です。2019年10月21日には、下関中等教育学校の皆様にご来学いただき模擬講義「下関学への招待」などを体験していただきました。また10月24日には豊北・下関北高等学校の皆様にご来学いただき模擬講義「保険の観点から年金を考える」などを体験していただきました。

②ゼミ訪問、論文研究指導事業。これは、下関市立大学の教員が地元下関の高等学校、中等教育学校の生徒さんの高校卒業研究・論文指導をお手伝いする事業です。生徒さんがあらかじめ「研究テーマ」「研究・論文の構想・概要」を下関市立大学にご提示いただければ、そのテーマに最適な本学の専門家教員が研究室やゼミナール授業内で生徒さんの報告を聞き、対話型の指導を行います。2019年度には、梅光学院高等学校の生徒さん2名、下関中等教育学校の生徒さん13名にご参加いただきました。

③高校訪問、出張講義事業。これは私たち下関市立大学教員が地元下関を含め全国の高等学校・中等教育学校様を出張・訪問し、それぞれの専門研究を生かした大学の講義を

体験していただく事業です。2019年度には、合計67の講義メニューを準備し地元下関を含め全国の高等学校・中等教育学校様から多数のお招きをいただき、本学の講義を体験していただきました。詳しくは「下関市立大学・出張講義ライブラリー」をご覧ください。また2020年1月には、本学の地域社会研究・フィールドワーク専門家の教員が下関西高等学校様主催の「発展探求校内発表会」に参加し「下関の観光活性化に向けて」というテーマで「指導・助言」をさせていただきました。

2020年度も下関市立大学は地元下関の高等学校、中等教育学校様との連携事業に注力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

下関市内における2019年度高大連携実施校

※予定含む(2020.1.21現在)

①大学見学

山口県立豊浦高等学校、山口県立下関中等教育学校、山口県立豊北・下関北高等学校

②ゼミ訪問、論文研究指導

山口県立下関中等教育学校、梅光学院高等学校

③高校訪問、出張講義

早鞆高等学校、山口県立下関中等教育学校、山口県立長府高等学校、山口県立豊浦高等学校、下関商業高等学校、山口県立下関西高等学校



就職支援

2019年度内定先一覧

(2020.02.04)

金融・保険	シャープファイナンス(株)	(株)グリア	ダンロップタイヤ中国(株)	(株)ミカサ	ディー・エイト(株)	(株)イワナミ	ANAテレマート(株)	東ソー物流(株)
(株)日本政策金融公庫	(株)エム・アール・エフ	榎本興業(株)	(株)寺子屋	(株)陽進堂	非破壊検査(株)	内山緑地建設(株)	(株)オービック	トモテツグループ
(株)三井住友信託銀行(株)	オリックス生命保険(株)	テルウェル西日本(株)	トヨタカラーラ佐賀(株)	(株)イナテック鳥取	(株)船井総合研究所	エルクホームズ(株)	(株)岡山システムサービス	(株)ドリームスカイ名古屋
(株)三菱UFJ銀行	メットライフ生命保険(株)	東海濃粉(株)	トヨタカラー山口(株)	(株)小野製作所	三宅税理士法人	(株)オンテックス	(一社)岐阜県行政情報センター	西日本旅客鉄道(株)
(株)りそなホールディングス	(株)かんぽ生命保険	東京シティ青果(株)	(株)トライアルカンパニー	(株)カクダイ	(株)三宅会計	(株)オンテックス	キャノンシステムアドバンス(株)	西日本旅客鉄道(株)
楽天銀行(株)	住友生命保険相互会社	トーヨーグループ	(株)ドン・キホーテ	(株)スチールハブ	アパグループ(株)	(株)九南	(株)QNet	日鉄物流(株)
近畿労働金庫	第一生命保険(株)	(株)トップ	(株)ナフコ	(株)スチールハブ	アパグループ(株)	(株)九南	(株)ケイズ	日本梱包運輸倉庫(株)
中国労働金庫	日本生命保険相互会社	トヨタ部品山口共販(株)	(株)西松屋チェーン	(株)長府製作所	サルボ両備(株)	(株)鴻池組	株式会社電子計算センター	日本梱包運輸倉庫(株)
四国労働金庫	明治安田生命保険相互会社	(株)中島商会	日産プリンス山口販売(株)	トヨタカゴ(株)	(株)JR四国ホテルズ	(株)コプロス	コスミックビジネス(株)	日本郵便(株)
九州労働金庫	朝日生命保険相互会社	南国殖産(株)	(株)ニトリ	室賀電子機工(株)	(株)シイクハンズ	五洋建設(株)	コムシス(株)	日本郵便(株)
(株)足利銀行	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	(株)ニシイ	(株)ネクステージ	ユタカ電業(株)	すかいらーくグループ	西部ガスリビング(株)	(株)佐賀IDC	阪阪急神エクスプレス
(株)大分銀行	東京海上日動火災保険(株)	西日本フード(株)	ネットヨタ北九州(株)	YKKAP(株)	新世紀ホールディングス	三洋ハウス(株)	(株)佐賀電算センター	富士物流(株)
(株)沖縄銀行	三井住友海上火災保険(株)	(株)西原商会	ネットヨタ山口(株)	(株)アイエイアイ	徳力の源ホールディングス	(株)住居時間	(株)山陰中央新報社	龍口パルコシステム(株)
(株)鹿児島銀行	全労済若狭生活協同組合連合会	(株)日伝	(株)パージョングループ	(株)英田エンジニアリング	徳利ドールホールディングス	セキスイハイム中四国(株)	(株)C&Gシステムズ	BLUEZOO(有)
(株)佐賀銀行	香川県農業共済組合	(株)日本アクセス	(株)はびねすくらぶ	(株)石垣	(株)はま寿司	(株)大勇フリーズ	Gcomホールディングス(株)	(株)ホームロジスティクス
(株)山陰合同銀行	(株)エクスポート	ビッグモーターグループ	ビッグモーターグループ	(株)共同カイトック(株)	(株)MountainBull	高山産業(株)	(株)システナ	三菱ケミカル物流(株)
(株)四国銀行	(株)JTベネフィット	(株)エフエムマーケティング(株)	広島日産自動車(株)	クリタ・ケミカル製造(株)	ヒルトングループ	タマホーム(株)	(株)システムソフト	(株)柳川合同
(株)十八親和銀行	(株)JALUX保険サービス	日産自動車(株)	(株)ファミリーマート	コペルコ建機(株)	(株)ユービーイーホテルズ	(株)中電工	(株)ジャネックス	ヤマト運輸(株)
(株)筑邦銀行	(株)アクティオ	鹿児島ホールディングス(株)	富士商(株)	サトホールディングス(株)	リゾートトラスト(株)	東テック(株)	(株)シンク	郵船ロジリング(株)
(株)但馬銀行	(株)テックスタート・ジャパン	フクダ電子グループ	(株)フタバ図書	(株)常光	ルートイングループ	ルナソネ住設(株)	新興サービス(株)	西備ホールディングス(株)
(株)中国銀行	オリックス自動車(株)	富士ゼロックス山口(株)	(株)ProjectWhite	神鋼造機(株)	アイ・ケイ・ケイ(株)	西田鉄工(株)	新日本コンピュータシステム(株)	(株)ロジコム
(株)鳥取銀行	九州リースサービス	フルサトグループ	(株)勉強堂	大和冷機工業(株)	(株)エイチ・アイ・エス	ニッカホーム福岡(株)	スターティアラボ(株)	(株)アネムホールディングス
(株)百十四銀行	JA十三銀行	(株)マクニカ	マックスバリュ九州(株)	長府工業(株)	(株)エヌティーエー旅行	日環特殊(株)	(株)ゼンリン	(株)一ニ
(株)広島銀行	住友三井オートサービス(株)	三菱電機環境システムズ(株)	(株)丸九	テイサ産業(株)	クラブツーリズム(株)	NOSCOライフネットサービス(株)	(株)ソルネット	(株)ウィルウェイ
(株)福岡銀行	(株)ソーコーリース	(株)ムトウ	(株)万惣	(株)奈良機械製作所	(株)サカエコーポレーション	(株)ハウジングプラザ	(株)中国新聞社	福岡州コーポレーション
(株)宮崎銀行	大和リース(株)	ヤマエク野(株)	(株)ミスターマックス	日本光電工業(株)	(株)サニックス	徳本製業ホールディングス(株)	テトラポット(株)	学研グループ
龍口フィナンシャルグループ	日本ソリューションズ(株)	(株)山産	(株)ミッドフォー	福島工業(株)	(株)サンレー	パナソニックホームズ北九州(株)	トランス・コスモス(株)	(株)公文教育研究会
(株)愛知銀行	日本郵便(株)	山下医科器械(株)	緑川化成工業(株)	プライミクス(株)	(株)第一興商	日立建設(株)	日本システムウエア(株)	龍口パルコシステム(株)
(株)琉球銀行	大分県農業協同組合	山代ガス(株)	(株)未来ガガ驚喜研究所	(株)牧野フリス製作所	(株)タイラベストビート	(株)富士ピー・エス	(株)ネオスター	(株)カラサクス
(株)西京銀行	北九州農業協同組合	(株)山善	(株)メガスーパー	三菱電機(株)	(株)トコカイ	双葉鉄道工業(株)	(株)NEXCOシステムズ	(株)さなる
(株)佐賀共栄銀行	兵庫南農業協同組合	ユアサ商事(株)	山口ダイハツ販売(株)	矢崎総業(株)	パフィックグループ(株)	三井ホーム(株)	(株)BCC	(株)国立病院機構
(株)香川銀行	マルイ農協グループ	リコージャパン(株)	山口テレコム(株)	ヤンマー建機(株)	BLDWEDDINGS(株)	三菱電機ビルテクノサービス(株)	(株)ビジネスアシスト	(株)地域医療機能推進機構
(株)福岡中央銀行	山口県農業協同組合	菱洋エレクトロ(株)	山口日産自動車(株)	(株)湯山製作所	(株)FINCTechnologies	安本建設(株)	(株)ビジョン	(株)労働者健康安全機構
(株)長崎銀行	卸・小売	(株)リョーサン	山口日野自動車(株)	岡崎製作所	(株)ミュゼプラチナム	(株)ヤマサキ	フィックス(株)	(株)くまのデータ
(株)みなと銀行	アイ・エイチ・ジェイ(株)	アイ・ティー・エックス(株)	(株)ユーホー	オプテックス(株)	(株)名鉄産業(株)	(株)LibWork	富士ソフト(株)	(株)望月眼科
(株)南日本銀行	アイティーエックス(株)	EH(株)	龍口ドストパートナーズ	サミー(株)	(株)ヤマシタ	伊藤アールコムエディン(株)	プランニュー(株)	(株)山口県保険医協会
岐阜信用金庫	アサヒ鐵鋼販売(株)	イオンリテール(株)	製造	(株)中国電機サービス社	ワタキューセイモア(株)	(株)エストラスト	(株)フリーダム	アサヒサンクレーン(株)
おかやま信用金庫	ELJグループ	(株)いちのみや薬局グループ	旭酒造(株)	デル(株)	日本年金機構	(株)MDI	(株)ペガコーポレーション	(株)あすなる学園
津山信用金庫	インシグロ(株)	(株)エディオン	あさひ製菓(株)	(株)IHI	(株)自動車事故対策機構	大分ベスト不動産(株)	(株)ホープス	(株)ココロココ
備前信用金庫	石屋商事(株)	(株)エブリイ	アサヒビール(株)	東海交通機械(株)	(一社)日本自動車連盟	(株)グランディーズ	(株)マイティエース	SOMPOケア(株)
しまなみ信用金庫	(株)ACN	(株)大阪屋ショップ	伊藤ハムウエスト(株)	(株)成田製作所	(一社)共立国際文化交流財団	(株)JR鹿児島シティ	龍口情報処理サービスセンター	(一社)九州電気保安協会
西中国信用金庫	(株)エーピーシー商会	生活協同組合おかやまコープ	小川珈琲(株)	ユニプレス九州(株)	(株)アイソルルート	(株)JR博多シティ	龍口ホールコムエータシステム	ツバサフロンティア
萩山口信用金庫	(株)エコア	(株)ガスパル九州	カバヤ食品(株)	宇部テリアルズ(株)	(株)アウトソーシング	(株)湘建	ラディックス(株)	山口合同ガス(株)
遠賀信用金庫	SGFホールディングス(株)	(株)ガスパル中国	ココロホテラズジャパン(株)	(株)京三製作所	龍口アウトソーシングテクノロジー	大英産業(株)	(株)ラディックス	公務
福岡ひびき信用金庫	(株)エフティグループ	北九州ダイハツ販売(株)	寿製菓(株)	協同紙工(株)	龍口アーク・ヒューマンセンター	大東建託リーシング(株)	龍口リーシング	厚生労働省 (高松労働局・山口労働局)
たちばな信用金庫	大西商事(株)	極東ファディ(株)	大山ハム(株)	コトブキ製紙(株)	アチーブメント(株)	パーク24グループ	(株)両備システムズ	国土交通省 (中国地方整備局)
熊本第一信用金庫	小野建(株)	(株)グッディ	中川食品(株)	サンエックス(株)	九州総合サービス(株)	大和リビングマネジメント(株)	(株)リクレア	財務省 (福岡国税局・広島国税局)
鹿児島信用金庫	鹿児島ヤクルト販売(株)	生活協同組合コープやまぐち	龍口リコモインタープライズ	(株)ジェムキャッセルゆきざき	共同エンジニアリング(株)	トラスホールディングス(株)	(株)Wiz	財務省 (中国地方整備局)
鹿児島相互信用金庫	鹿儿島物産(株)	(株)高野山スズキ	日清オイルグループ(株)	龍口ファイネンテックス(株)	総合整備保障(株)	(株)9GATES	その他	財務省 (福岡国税局・広島国税局)
蒲郡信用金庫	片山鉄建(株)	(株)コスモス薬品	日本食品(株)	泉陽興業(株)	日本駐車場開発(株)	西鉄ビルマネジメント(株)	岩崎産業(株)	法務省 (山口地方検察庁)
熊本中央信用金庫	龍口コンシールディングス	コネクシオ(株)	日本食研ホールディングス(株)	タカラスタンダード(株)	ディップ(株)	龍口ネクサスエージェント	(株)AIRDO	警察庁 (中国・四国管区警察局)
姫路信用金庫	(株)キシヤ	(株)コメリ	ネスレ日本(株)	日本製紙クレシア(株)	東洋テック(株)	(株)ハッチ・ワーク	ANA関西空港(株)	裁判所 (大阪高等裁判所・福岡高等裁判所)
香川県信用組合	コーエー(株)	(株)サンドラッグ	(株)ノーサン・エミー	フランスベッド(株)	日総工業(株)	(株)豊後企画集団	ANA福岡空港(株)	裁判所 (大阪高等裁判所・福岡高等裁判所)
広島市信用組合	国分グループ本社(株)	(株)サンリブ	プリマハム(株)	(株)ヨータイ	龍口パーソナルビジネス	(株)別大興産	IF7システムズ(株)	陸上自衛隊
大分県信用組合	(株)古城	三和興産(株)	マルサンアイ鳥取(株)	サービス	パソナテックスタッフ(株)	(株)MAXIV	エムケイグループ	陸上自衛隊
信用組合広島商銀	佐賀県食糧(株)	(株)ジュンテンドー	(株)やずや	(株)中小企業経営塾機構	(株)パソナグループ	(株)ミクニ	(株)大森酒造店	県庁 (大分県・鹿児島県・熊本県・島根県・福岡県・山口県・和歌山県)
宮崎県信用協同組合連合会	(株)佐渡島	(株)庄司酒店	山崎製パン(株)	(株)あさひ合同会計	龍口キャストホールディングス	三井不動産リアルティ九州(株)	(株)上組	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
山口県信用協同組合連合会	(株)サンキ	(株)ジーンズ	明石被服興業(株)	阿部土地家屋調査士事務所	(株)ベリ・マッチ	龍口リゾナルリージョン長崎	関光汽船(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
大和証券(株)	三鋼販西日本(株)	(株)新日記薬品	堀江染工(株)	(株)アマナ	マーキュリー(株)	緑都開発(株)	吉商(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
龍口フィナンシャルグループ	(株)三友	(株)スーパーモリナガ	(株)北四国グラフィ印刷	(株)ウイズノル	龍口ミックコーポレーション	情報・通信	(株)サイ引越センター	市役所 (伊佐市・岩国市・大分市・山形市・高津市・北九州市・呉市・佐賀市・下関市・周南市・広島市・府中市・三原市・都城市・宮崎市・三次市・吉野川市)
岡三証券(株)	シャーマンマーケティング(株)	(株)スズキ自販徳島	駒田印刷(株)	(株)エイエイピー	UTグループ(株)	(株)アール・エム	サンデン交通(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
三三証券(株)	(株)翔葉	(株)スズキ自販山口	龍口アステックポイントジャパン	(株)エフアンドエム	UTコンストラクション(株)	(株)麻生情報システム	(株)JR日本交通サービス	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
東洋証券(株)	正晃(株)	龍口アール・エム・ジャパン	九州エア・ウォーター(株)	(株)エフ・エム・エス	ライクスタッキング(株)	あやたかシステム開発(株)	JFE物流(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
KOYO証券(株)	ダイキンAVCソリューション(株)	(株)ZEROPLUS	(株)再春館製菓所	エムスリッドサポート(株)	(株)ワークポート	(株)EPARKグルメ	下関海陸運送(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
FFG証券(株)	ダイキンAVCソリューション(株)	大黒天物産(株)	太陽石油(株)	キャデック(株)	(株)ワールドインテック	龍口アステックポイント	信州名鉄運輸(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
楽天カード(株)	泰盛貿易(株)	(株)大信業局	テルモ山口(株)	龍口サービスセンター	建設・不動産	(株)インフォテック朝日	センコー(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
(株)青山キャピタル	(株)タカギ	(株)大創産業	ノエビア(株)	サマユ(株)	旭シンクロテック(株)	(株)宇部情報システム	(株)ソラシドエア	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)
日立キャピタル(株)	(株)玉井歯科商店	ダイレックス(株)	龍口アール・エム・ジャパン	(株)タナベ経営	(株)一条工務店	(株)イム	高松運(株)	警察 (岡山県警・長崎県警・福岡県警・宮崎県警・山口県警)

就職支援

学内合同業界研究会に参加して

国際商学科3年 中家 愛実
(福岡県立門司学園高等学校出身)

合同業界研究会への参加を最初は迷っていました。しかし、大学の就活講座でも「企業の方と直接話せる機会を逃さない方がいい」と伺っていましたし、企業名だけを見てもピンとこなかったとしても、もしかしたら自分にも合う企業が見つかるかもしれないと思い、合同業界研究会に毎日参加することにしました。興味を持った企業を事前に調べ、授業の間に参加できる限りお話を伺いました。ある企業では、就活講座で学んだ通り「一番初めの時間にブースに到着→最前列の真ん中に座る→最後のフリータイムにも参加してお話する」ことを実践すると、企業の方から名前を聞いてもらえ、個別説明会もあるからまた参加してほしいと声をかけていただけました。このように、合同業界研究会に参加することで、自分に合いそうな企業を見つけたり、自ら話しかける積極性が身についたと感じます。公務員志望の人も公務員のブースだけでなく、気になる企業に参加することを是非お勧めしたいと思います。2月にも合同業界研究会があるので、ぜひ参加したいと思います。



4大学合同企業研究ワークショップに参加して

経済学科3年 岡崎 寛人
(愛知県立松陰高等学校出身)

12月7日、山口大学で行われた4大学合同企業研究ワークショップに参加しました。今まで全く知らなかった業界や企業のことについて学べる非常にいい機会となりました。

他大学の学生とワークショップを通して、BtoB企業で必要とされる人材、求められる資質や能力について考えていくだけでなく、他大学の学生が就活に対して取り組む姿勢や意欲、さらに大切にしている価値観にも触れることができ、自分自身の就活への取り組みを改めて考え直す一日となりました。

そしてこのイベントの最大の特徴は何といっても企業の方との距離の近さで、フリータイムには様々な質問を企業の方にすることができ、それまでに抱えていた疑問を全て解消することができました。

就活を始めようと思うけれど、何から始めたら良いかわからないと感じている後輩の学生にはまずこのワークショップに参加し、就活の第一歩を踏み出してほしいと思います。



PBLに参加して(山口県花卉園芸農業協同組合)

公共マネジメント学科3年 内田 千瑛
(大分県立大分雄城台高等学校出身)

今回参加したPBLでは、ハロウィンかぼちゃの販売とランタン作り教室の開催をメインに活動しました。

かぼちゃの苗植えや収穫など、普段の授業では体験できない作業も多く新鮮でした。また、かぼちゃの捨てる部分を再利用して別の商品を作っていることや、農業の現状など、新たな知識や発見も得られました。

目標として設定していたサファリランドでのイベント開催を前に、豊浦コスモス祭りに参加し、実際に接客することで課題や改善策を見つけることができ、ベストな状態でサファリランドでの企画に取り組みました。イベント当日は滞りなく進み、目標販売個数を売り上げることができました。

今回のPBLでは、他の学生達と意見を交換し合い、工夫しながら企画・運営するという貴重な経験ができました。また、積極的に取り組むことで自身の成長も感じられました。携わっていただいた多くの方々へ感謝しながら、今後に生かしていきたいです。



(PBL:Project Based Learning 課題解決型学習)

私のゼミ

連載企画

「良く学び、よく遊び」のゼミ

経済学科3年 山脇 飛輝
(岡山県立倉敷天城高等学校出身)

西洋経済史・西洋史の長濱ゼミの今年1年は、春学期では西洋の近代都市やフェアトレードについての日本語・英語の文献講読を行い、秋学期では人と犬の関係史についてのグループ研究を行いました。いずれも歴史的なプロセスを検証することを必要とし、多くの資料の読み込みや学生同士での議論など苦勞する場面が多数ありました。

しかし努力の甲斐あり、グループ研究は、長崎県立大学にて行われた合同ゼミ研究報告会で18ゼミの中から最優秀報告賞を頂くことができました。仮説を立て、検証を行い、結論を出すという一連の研究のプロセスをこのゼミの活動を通して学ぶことができ、成長を実感しました。また課外活動も積極的に行い、熊本、大分、長崎など多くの地へ訪れました。普段から学外で交流の場も多く、チームワークを高めることもできました。今後は卒業論文の作成に忙しくなりますが、この1年で学んだ事を生かしていきたいです。



国際交流

夢だった留学を終えて

(オーストラリア・クイーンズランド大学)

国際商学科3年 俣野 妙子
(古川学園高等学校出身)

中学生の頃オーストラリア旅行をし、その時からのいつか留学をしたいという密かな夢が実現し、約1年間、6か月の附属語学学校を経てクイーンズランド大学で交換留学生としての本分を全うしてまいりました。憧れの留学生活、わくわくしていたのも束の間、現実はその甘くないことを思い知らされました。大学での授業はやはりそう簡単にこなせるものではなく、ハイレベルな講義内容、その後のチュートリアルに目が回りそうでした。そんな中、支えとなったのは私の話を聞き、共に時間を過ごしてくれた友人達の存在だと思います。異なった文化が背景でも通じ合うことができ、思いや悩みを相談し合えたことはかけがえない思い出の一つです。

留学を終えて、もちろん精神力や英語能力は以前と比べると成長したと思いますが、自分の中で改善すべき点も見つけることができ、とても有意義な経験を積むことができました。この留学を支えてくださった全ての方々に感謝の気持ちを言葉だけでなく、行動でも伝えられるように精進してまいります。



東義大学校での10か月間の留学生活を終えて

国際商学科3年 岩井 麻衣子
(九州国際大学付属高等学校出身)

3月から10か月の間、釜山にある東義大学校に留学しました。韓国に留学することが高校生の時からの夢だったので、留学が決まった時は本当にうれしかったです。その反面こんなに長い時間を海外で過ごしたことがなかったので、正直少し不安もありました。でも留学が終わった今10か月間の留学生活を振り返ってみると、楽しい思い出ばかりでした。何より留学生活を送る中で、一生大切にしたいと思う友達にも出会えたことがとてもうれしかったです。一緒に授業を受けたり、ご飯を食べたり、韓国の色々な場所に遊びに行ったり、旅行をしたりして、友達は私の心の支えとなり、また私の留学生活を何十倍も充実させてくれました。そして当たり前ではない環境に身を置いて生活を送りながら、語学力だけでなく、自分が思っていた以上のたくさんのものを得ることができました。これからも、現状に満足することなく韓国語の勉強を続けながら、次の目標に向かって頑張ります。



第7回日本語スピーチコンテストと

国際コミュニケーション

経済学科1年 郭 志穎
(中国・広東省出身)

司会を務めた視点から日本語スピーチコンテストで学んだことを伝えたいと思います。

一生懸命に頑張って発表する留学生の姿、聴いて目がキラキラになっている学生のテンションを直接見られるのが司会を務める一番良い所です。発表後の質疑応答の時間も、学生と発表者の応答が直接見られて本当に良かったです。

僕は、質問の時間が日本語スピーチコンテストで一番大事な時間だと思います。それは、グローバル化が急速に進んでいる現代社会では、いつ、どこで外国人に会いコミュニケーションの必要が生じるかわからないからです。

日本語スピーチコンテストをきっかけにして、国際コミュニケーションを始めてみませんか?留学生でなくても、好きな所で、好きな外国人から始めても良いのです。最初は難しく辛いかもしれませんが、その経験はきっと未来の君に役立つことだと思います。

国際コミュニケーションを学んでいる留学生として、もっと深く学んでいきたいです。



多言語を学ぶ楽しさ

国際商学科3年 加悦 優莉
(兵庫県立豊岡高等学校出身)

11月21日、第11回中国語スピーチコンテストが開催され、私は暗唱の部に出場しました。

私にとって中国語は、韓国語・英語に次ぐ第3外国語です。多くの言語を学ぶことは一見難しいことのように見えますが、実は楽しさが勝ります。

それは、外国語を通じて多くの人と関わり異国文化を知る楽しさです。初めは違う文化を持つ人からカルチャーショックを受けたり嫌悪感を抱いたりすることもあります。同じ時間を共有することにより、違う文化を持った人がいることが当たり前になります。私は言語学習をきっかけに多くの留学生とつながり、自分の中に新しい考え方が生まれることを、身をもって体験しました。

たくさんの言語を学ぶことはたくさんの国の文化に触れるということです。現在日本には多くの外国人が暮らしているので、意識していなくても外国人と触れ合う機会はたくさんあります。様々な人が共存する世の中で、そのような良い意味のカルチャーショックを受けて外国人との交流を楽しめるようになれるといいのではないかと思います。



国際交流

コリアンスピーチコンテストに出場して

国際商学科2年 作野 佑衣
(山口県立下関中等教育学校出身)

2月11日に「第15回コリアンスピーチコンテスト」が開催されました。私は、目立ったことが苦手で積極的に何かをするような性格ではないので参加する勇気はありませんでしたが、韓国語を教えてくださいと先生に声をかけてもらい、不安な気持ちを持ちながらも出場することを決めました。練習していくうちに、出場するからには一生懸命にやろうという前向きな姿勢に変わり、先生にも積極的に取り組む姿を褒められたり、友達が支えてくれたりしました。そのおかげで、自分に自信をもって本番も非常に楽しく発表することができました。ありがたいことに、弁論の部で最優秀賞をいただきました。

今回の練習を通して、韓国に留学経験のある先輩や韓国人の交換留学生とも仲良くなり、出会いや成長するきっかけとなりました。本当に素敵な経験をする事ができ、スピーチコンテストに出場することができて良かったと思います。おかげで自分に自信を持つことができました。この経験を今後に生かしていきたいと思っています。



～餃子パーティ～から温かさを感じた

国際商学科1年 王 海楠
(中国・河北省出身)

12月頃、食見交群～餃子パーティ～のリーダーになりました。最初は、責任の重さを認識していなかったのですが、学生や先生と餃子パーティについて打合せをするにつれ、リーダーの責任を感じるようになりました。リーダーの能力が足りないで、自己否定も強くなりました。先輩たちにも悩みを何回も聞いてもらいました。餃子パーティの前日準備を迎え、人手不足のため餃子パーティに参加しない学生も手伝ってくれました。準備が終わって中国人の先輩と帰る時、餃子パーティへの不安を持つ私を見て、たくさんアドバイスをしてくれました。最後に「心配するな、どんな時でも先輩たちが傍にいるよ」と微笑んで励ましてくれました。「先輩たちがいてよかった～」と感じました。翌日、先生と学生たちとの協力で、学内外から50人が参加した餃子パーティが無事に終わりました。日頃は先生や先輩との交流が少ないので、今回の餃子パーティで、皆の温かさ、優しさを感じました。自分も、いい先輩になる決心をしました。



第2回日本文化の神髄を知ろう!!に参加して

交換留学生 パトリック・ビエラ
(ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン経済大学から派遣)

12月7日に「そば打ち体験と日本人のルーツをたどる旅」という旅行に参加しました。15人の日本人学生や留学生が参加しました。最初に豊田農業公園みりの丘へバスで60分ぐらいかけて行きました。バスの中では自己紹介ゲームをしながら過ごしたので、時間が経つのが早かったです。

会場に着くと、最初に老紳士の先生がそば打ちの仕方を教えてくれました。その後皆は自分でそば打ちをしてそばを作り始めました。私は料理をあまりしません。ところが自分で作ったそばは上手に出来てとても美味しかったです。その上、作る時は本当に楽しかったです。

昼食後はバスで土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアムに行きました。博物館ガイドが遺骨の歴史を教えてくださいました。発掘現場にはレプリカの遺骨もあり、とても興味深かったです。その後大学に帰りました。旅行のおかげで、私は日本の文化について一層知ることができました。それに、楽しい経験もできました。



「第4回日本にいなながら世界を知ろう!!」に参加して

国際商学科1年 八木 佐紀志
(滋賀県立八日市高等学校出身)

12月23日に「第4回日本にいなながら世界を知ろう!!」がロシアをテーマに開催されました。国際交流員として山口県庁に勤務しておられるロシア出身のバレンティーナさんにロシア人の国民性や出身地のイルクーツク市の魅力などをお話していただきました。

特に印象的だったのは「笑顔」に対する認識の違いです。日本では笑顔で人と接し、緊張をほぐしますが、ロシアでは「笑顔」で人に接するのは「ばかにされている」と受け取られるため、人々が愛想笑いをしないということを知りました。笑顔が飛び交う日本に住む私にとってこの事実は衝撃でしたが、笑顔でなくてもロシアの人が不機嫌なわけではないと知りました。

それに加えて、ロシアの過去最低気温が-71.2℃という事実も知りました。そんな極寒の地においても電車やバスが普通に動き続けることを教えていただき、日本とロシアの寒さに対する感覚の違いを学ぶこともできました。

ロシアの礼儀や極寒の地で生きる知恵を生で感じる事ができ、とても有意義な時間となりました。



国際交流

半年間の思い出

交換留学生 ヤン・マイヤー
(ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン経済大学から派遣)

日本に来てまだ半年ですが、たくさんの思い出を作りました。最初の数週間はちょっと大変でしたが、留学生チューター、先生、国際交流センターの方々のおかげで直ぐに慣れました。留学生チューターには銀行口座を作る時や下関市の案内、日常生活についてよく助けてもらい、国際交流センターの方々とは、最初の週にあちこちでたくさんの事務処理をして、本当に大変でした。自分自身で出来ない事でしたから、助けに感謝します。

大学ではハンドボール部に入り、新しい知り合いもできました。最初は雰囲気少しぎこちなかったけど、何回か練習に参加し、飲み会もあり、直ぐ仲良くなりました。部活で大会に行ったり、私の誕生日祝いをしてくれたり、忘年会も一緒にしました。その他には、大学祭やお神輿担ぎ、WSKサークルのハロウィンパーティ、交通安全の発表に参加したおかげで日本を知りました。「国際交流会とみだち」サークルと別府にも行き、初めて温泉に入りました。熱かったけど気持ちよかったです。

授業でも様々な人に出会いました。ここで知り合った人は全員出あって良かったと思います。これからも楽しい人に出会えることを願っています。勉強も頑張りたいと思います。



忘れられない一年間

科目等履修生 オズデル イレム ギュル
(トルコ・ボアジチ大学)

下関市の花がハマユウであることを知っていましたか?唐戸周辺は埋め立てられて昔とは随分変わったことを知っていましたか?下関市立大学のスタンプを見たことがありますか?

私は2019年4月から下関市立大学にトルコからの留学生として通っています。そろそろトルコに帰る日が近づいてきた最近では、よく日本へ来た初日のことを思い出します。来日した時には日本とトルコの全く異なる文化や言語や人柄について不安がたくさんありました。しかし、1年間の出来事に期待しながらワクワクとした気分でした。やがてだんだん新しい生活に慣れてきて、日本、特に下関のことをたくさん学びました。素晴らしい人と出あって友達になったり、旅行先できれいな景色を見たりしながら美味しい料理を食べ、忘れられない1年間を過ごさせてもらいました。将来は下関に戻って来たいと思うほど、まるで他国にある故郷のように感じるようになりました。

留学したいと思っている皆さんもぜひいろいろなことに挑戦して経験してみてください。



秋の長府庭園で

交換留学生 謝 育岭
(台湾・銘傳大学から派遣)

2019年9月に日本に来ました。台湾にいる時は、あまり紅葉を見る機会が無いので、ずっと紅葉狩りをしたいと思っていました。

国際交流センターの外側通路には、いろいろな旅行に関するパンフレットが置いてあります。そのパンフレットの中にあつた長府庭園の美しい風景を見て、遊びに行くことにしました。

長府庭園には、池、書院、茶屋がありました。かつての静かなたたずまいが今日まで残されています。そして、広い園内を散歩するとリラックスし、売店で購入した昔懐かしいラムネを片手に、ゆっくり池を眺めるのもいいです。長府庭園は紅葉だけではなく、季節によって風景が変わります。例えば、1月から3月までは梅花で、4月から5月までは枝垂れ桜で、5月から6月までは菖蒲とアジサイです。

日本に留学する前は、桜や紅葉を見たことがなかったので、このような経験は非常に珍しく感じました。下関市には、素晴らしい観光地がいっぱいありますが、長府庭園がいま一番お勧めです!



下関で得たもの

交換留学生 朴 宰亨
(韓国・東義大学から派遣)

2019年の4月から下関市立大学に留学しています。下関市立大学には、世界各国からの留学生が日本語学習のために来ており、私はその留学生たちと母語以外の第2の言語でコミュニケーションをして信頼を築くことができたのは本当に良かったです。もちろん最初は下手な日本語や人見知りのせいで照れくさかったけど、親睦会と授業を通じてすぐ友達になりました。他の留学生と友達になった後は自分の話をもっと伝えたくて日本語に対する関心も大きくなりました。日本語学習だけを中心に留学期間を過ごしていたら途中で苦しくなって諦めたかもしれませんが、寮での親睦会や料理会などを通じて充実した留学生活を送ることができました。他にも中国人留学生の毛君と一緒にいった熊本旅行や寮で一緒にした花火は本当に貴重な経験になり、私の背を押す力にもなりました。このエッセイを書いている今、残りわずかな留学期間ですがその短い時間にも多くの経験をしてそこから学ぼうと思います。



退任のご挨拶

退任にあたって



教授 森 幸弘

1992年4月に着任以来、平成の時代から令和の時代へと28年の長きにわたって本学で過ごさせていただきました。下関には本学着任以前より10年間在住しておりましたので、本市での生活は38年になります。教職員の皆様をはじめ多くの方々に支えていただき、本年3月末で無事にひとつの区切りを迎えることができました。あらためて深く感謝申し上げます。

先日、たまたま着任後間もない頃からの写真を見る機会がありました。そこには、まるで「別人」の自分がゼミコンパで談笑するシーンもありました。30代であった若き日の姿には、時の流れをあらためて実感させられました。これまで講義を通じてご一緒させていただいた数え切れないほどの多くの卒業生、また500名近くにも及ぶゼミ卒業生ならびに大学院修了生とのふれあいが懐かしく思い出されます。ゼミ卒業生のなかには、卒業後毎年欠かさず近況報告を寄せてくれる人たちも大勢います。家族の写真、子供さんが描いた絵など、微笑ましいお便りを数多く拝見させていただいており、たいへんありがたく思っております。また、まったく前触れもなく研究室に姿をあらわす「卒業生のサプライズ来訪」は、私に大きな刺激と喜びを与えてくれていました。卒業生とのしばしの会話のなかでは、当時のゼミでの発表準備等の苦労話、提出期限が厳格に決められていた「ゼミ課題ノート」提出のたいへんさなどが頻繁に出てきていました。もっとも、全員がそれを良き思い出として笑顔で語ってくれていることが、今日まで、私にとってのやりがいとなり、大きな励みにもなってきました。講義やゼミ等を通じての多くの学生とのふれあいは私にとっての宝であり、また常に真剣に学生に向き合うことができたことは、これまでの教員生活においての誇りでもあります。

研究生活の面でも、ひとつの区切りを迎えることとなりましたが、歩みは止めない所存であります。市場リスクの負担・転嫁問題に関する研究、企業経営から見た先物取引の研究は、マーケティング論の重要な部分を構成するとの認識のもとに、市場リスク問題からマーケティング論を再構成するという究極目標に向け、研究を進めて参りたいと思っております。研究に際しては、これまで多くの先生方、業界関係の皆様にご指導、ご助言等をいただいていた参りました。まだまだ道半ばですので、これからも引き続き取り組んでいきたいと考えております。

28年にも及ぶ本学での教員生活を曲がりなりにも終えることができましたのは、多くの方々と出会い、ふれあうことができ、ご指導、ご支援をいただけたからこそであり、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

下関市立大学が生き生きとした学生、教職員のすがたで満ち溢れ、未来に向けて小さくとも光り輝く大学であり続けることを祈念しまして、お礼の言葉とさせていただきます。

退任にあたって



准教授 素川 博司

本学赴任がバブル崩壊直後、1992年4月でしたが、私の故郷淡路島と下関とが北前船で活躍した高田屋嘉平を通じてその昔つながっていた話を、当時の市大広報に書かせていただいたことがなつかしく思い出されます。

その頃の市大は、教職員合同のチームを作って北九州下関地区の種々のスポーツ、囲碁・将棋なども含めた大会に、多くの先生方が参加する催しを毎年やっていました。飲み会の方も結構盛んで教員、職員そろっての気遣いは、それは大変なものでしたが、職場の雰囲気、公務の円滑化に役立っていた印象を持っています。察するに one team の良い部分を引き出す工夫だったのでしょうか。私はそれを満喫した方の部類でした。

他方で当時、すでに教員組合立ち上げの動きが出ていて、発足時私もただちに参加いたしました。福利厚生を中心とした交渉をする組合として、全教員がメンバーとなって誕生しました。下関市サイドも鷹揚だったようです。しばらくして職員の組合も必要ではないかといった意見も出たようですが、近隣公立大学の事例も参考にして、全員参加型でなくなる恐れが大きいという判断があってそうならなかったと記憶しています。

いま思えば、その頃から市大には「個」をいきいきさせながら事を進めるという風を大切にすることがどこかあったと思われる。全国的に働き方が重要問題視され、政労使3者協議が無視できない今日、市大が忘れてはいけない基本は何かといえ、全体を良くすることに取り組むプロセスで、「個」が壊れることがあってはならない、というようにも言えるのではないのでしょうか。働く人間にやさしい one team づくり重視でやっていただければと存じます。退任者の気楽さと言われそうですが、難局のときこそ、「和」を尊び、よろず「公論」で決めることで前向きチャレンジもできるのだと思います。ゼミ卒業生には、ドイツの諺「理解することは恕すこと」を贈らせてもらっていますが、このことも含めて申し上げますと、要は、理解と融和と発展を!ということでしょうか。

私の専門はマクロ経済学ですので、この分野から「外との競争」に係って最後に重ねて一言。少子高齢化時代の競争を乗り切るには、「プロセス・イノベーションよりもプロダクト・イノベーション!」が力の按配として肝要だ、と言われることがあります。大学もまったく同様で、競争のコスト削減のみ夢中にならず、労働の質向上とともに「大学の生産物」の品質向上と適切な多様性を追求して競争に生き残る、ということだろうと思います。そしてその際、わけても長期とマクロ(全体)の視点を旨としていただきたいと存じます。

下関市立大学には28年間お世話になりました。これまでお付き合いいただきました教員、職員そして関係の皆さまに、改めて感謝申し上げますとともに、市大の今後の発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

2019年度 秋季 大会等成績

サークル名	大会等名称	成績	備考
準硬式野球部	第37回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	出場	中国地区選抜チームの選手として選出(榊原・佐藤・中谷・森本・大野・丹田)
ハンドボール部	山口県学生ハンドボール選手権大会	2位	ベストセブン(岩崎 智也・世古 聖)、得点王(世古 聖)
フットサル部	山口県フットサルリーグ	2部1位	1部昇格
硬式庭球部	第66回北九州・下関地区大学体育大会 硬式テニス競技 女子ダブルス	1位	黒田 理沙・西村 彩
少林寺拳法部	少林寺拳法全国大会inあいち		
	団体演武大学生の部	出場	中村・迫田・梶田・福田・加賀
	組演武大学生女子の部	出場	梶田・福田
陸上競技部	第42回中国四国学生陸上競技選手権大会 (400m)	1位	伊藤 優作
	下関海響マラソン 5kmの部	1位	三好 泰生
ボディビル(※)	第54回全日本学生ボディビル選手権大会	出場	福田 雄太

※本学にボディビルのサークルはないが、学生自身が競技団体に選手登録し、予選大会(九州学生ボディビル選手権大会)で優秀な成績を収め、当該全国大会への出場権を獲得した。

2020年度入試結果

本学において、11月23日(土)に2020年度推薦入学、特別選抜(帰国子女・社会人)、第3年次編入学の試験を、12月21日(土)に外国人留学生選抜の試験をそれぞれ実施しました。

学科	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
経済学科	推薦	全国	28	94	94	28	3.4
		地域	A	29	53	53	29
	B						
	帰国子女	2	0	-	-	-	-
	社会人	2	0	-	-	-	-
	外国人留学生	若干名	25	22	4	5.5	
	第3年次編入学	8	26	19	8	2.4	
国際商学科	推薦	全国	28	84	84	32	2.6
		地域	A	29	40	40	30
	B						
	帰国子女	2	0	-	-	-	-
	社会人	2	0	-	-	-	-
	外国人留学生	若干名	55	54	18	3.0	
	第3年次編入学	8	21	11	8	1.4	
学科 公共マネジメント	推薦	全国	8	23	23	11	2.1
		地域	A	8	15	15	10
	B						
	帰国子女	1	0	-	-	-	-
	社会人	1	0	-	-	-	-
	外国人留学生	若干名	6	6	1	6.0	
	第3年次編入学	4	28	20	4	5.0	

※推薦入学の合格者数には第2、第3志望学科合格者を含みます。

2019年11月～2020年2月の行事

2019年

- 11月 7日 日本語スピーチコンテスト
- 20日 学内合同業界研究会(～26日)
- 21日 中国語スピーチコンテスト
- 23日 推薦・特別選抜(帰国子女・社会人・編入学)
- 30日 赤間関公開講座
- 12月 2日 第1回交通安全講習会
- 9日 第1回リーダーシップトレーニング(～10日)
- 11日 コリアンススピーチコンテスト
- 12日 共同自主研究発表会
PBL中間報告会
- 21日 外国人留学生選抜
- 25日 冬季休業(～1月5日)
- 29日 学内一斉休業(～1月3日)

2020年

- 1月 6日 授業再開
- 10日 第2回交通安全講習会
- 17日 大学入試センター試験準備(全学休講)
- 18日 大学入試センター試験(～19日)
- 29日 英語プレイスメントテスト
- 29日 卒業論文提出日(～30日)
- 31日 秋学期定期試験(～2月10日)
大学院学位論文提出日
- 2月11日 春季休業(～3月31日)
- 8日 大学院2次選抜
就活直前セミナー
市大キャリアスタディ
- 12日 学内合同業界研究会(～14日)
第2回リーダーシップトレーニング
- 25日 一般選抜(前期日程)

学生団体新役員

●第16代学生会執行部



佐藤 聡平

会長
佐藤 聡平
(経済学科3年)

副会長
奥村 海斗
(経済学科3年)

●第45代体育会



中村 公一朗

会長
中村 公一朗
(経済学科3年)

副会長
赤澤 賢人
(国際商学科3年)

●第36代文化会



佐藤 大将

会長
佐藤 大将
(国際商学科2年)

副会長
中田 季沙良
(国際商学科2年)

●第59回大学祭実行委員会



杉 亮賢

委員長
杉 亮賢
(経済学科2年)

副委員長
内野 浩聖
(公共マネジメント学科2年)

連載企画
自著を語る

『大恐慌期の米国金融政策』を出版して想うこと

准教授 西戸 隆義

2019年9月に白桃書房より『大恐慌期の米国金融政策』を刊行しました。この著書の出版の動機は、1997年に執筆した博士論文「大不況期における米国連邦準備制度の金融政策」の内容を、活字として残しておこうと思ったからです。博士論文をスリムにし、多少読みやすくすれば済むのでは、という安易な考えで執筆にとりかかりました。しかし作業を進めていくと、大変な困難に直面しました。終わってみれば、大幅に書き直すことになってしまいました。よくよく考えると、これは当然であり、現在の眼鏡を通して眺めた大恐慌期は、1997年当時の眼鏡を通して眺めた大恐慌期とは、どこか異なる光景に見えたからです。このときに、かつてカーが述べた「歴史とは現在と過去との絶え間ない対話です」という言葉をふと思い浮かべました。現在の諸条件が変化すると、過去との対話もいろいろと変わるものだと改めて実感しました。今回の著書の出版で、私自身が得た最大の収穫は、このカーの言葉の意味を少し理解できたことかもしれません。

